

# マクロのインストール方法の説明

みんなのワードマクロ

このたびは、マクロテンプレートをダウンロードいただきありがとうございました。

ダウンロードいただいたワード用のソフトウェア（ユーティリティ）をご利用いただくためには、ワードに「マクロテンプレート」をインストールする必要があります。

インストールは、クリック数回で完了する簡単な操作ですので、リラックスして実行してください。また、インストールが失敗した場合にも、本マニュアルに従って落ち着いてインストール作業をお楽しみください。

## 目次

1. インストール方法 .....	2
2. マクロが実行されない?? マクロが無効化されている場合 .....	4
（Word 2003 の場合） .....	4
（Word 2010 の場合） .....	5
3. マクロが実行されない?? 「デザインモードがオン」の場合 .....	6
（Word 2003 の場合） .....	6
（Word 2010 の場合） .....	7
4. マクロのオン・オフの切替方法 .....	8
（Word 2003 の場合） .....	8
（Word 2010 の場合） .....	10
5. リボンに「開発」タブを表示させる .....	11
6. その他の関連情報 .....	13

本説明書において、Word 2007 の操作画面はございませんが、Word 2010 とほぼ同様です。

## 1. インストール方法

マクロテンプレートをダブルクリックして開くと、図 1 や図 2 のような「セキュリティ警告」が表示されることがありますが、「マクロを有効にする (E)」(図 1) または、「コンテンツの有効化」(図 2) をクリックしてください。

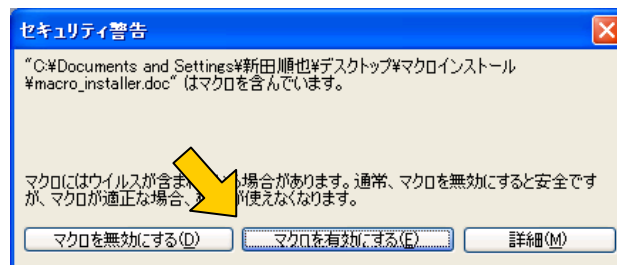


図 1 セキュリティ警告 (Windows Xp + Word 2003)

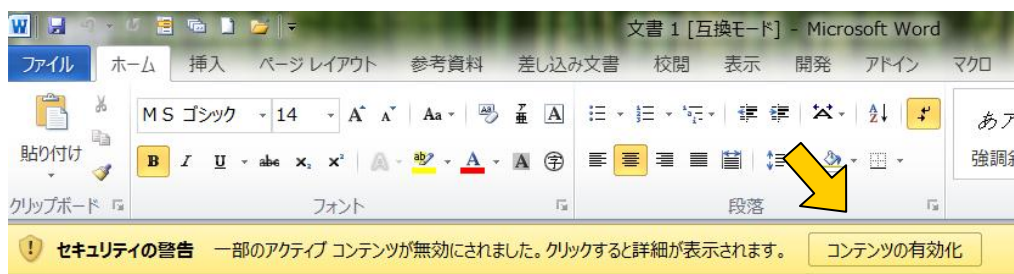


図 2 セキュリティの警告 (Windows 7 + Word 2010)

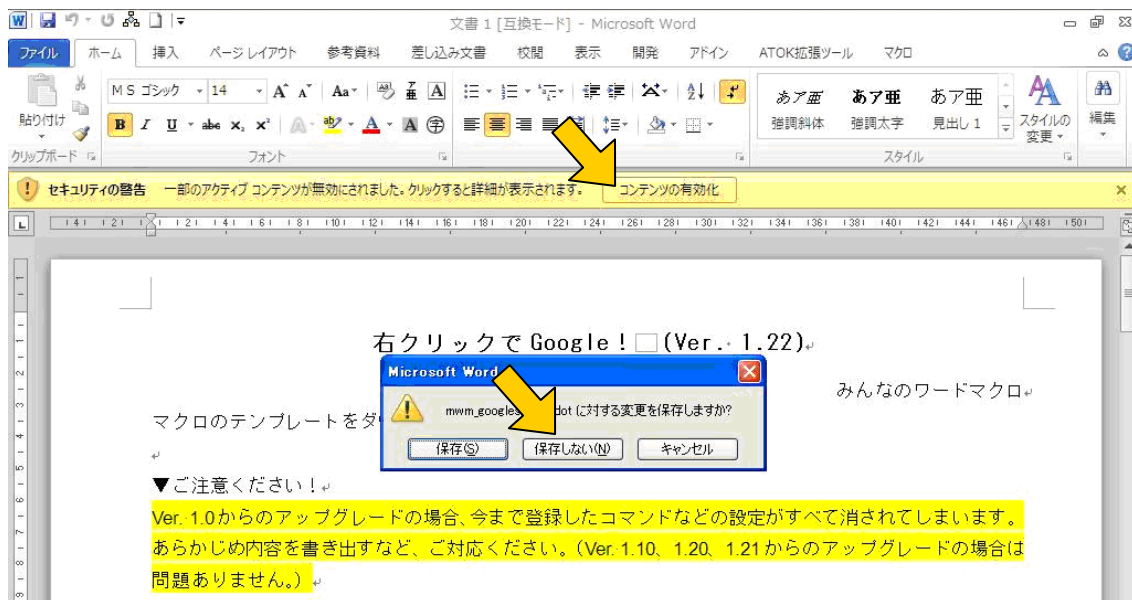


図 3 「コンテンツの有効化」後のメッセージ (Windows Xp + Word 2010)

Windows Xp + Word 2010 の場合、「コンテンツの有効化」をクリックした後に、図 3 のとおり「・・・に対する変更を保存しますか?」というメッセージが表示されることがあります。

その場合は、「保存しない (N)」をクリックしてください。

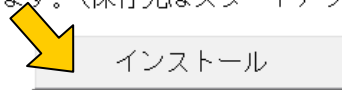
マクロテンプレートが開かれると、図 4 のような説明が書かれています。

▼インストール方法

古いバージョンのマクロテンプレートを削除してからインストールしてください。  
ボタンをクリックしても何も起こらない場合の対策は、PDF ファイル（はじめに）をご参照ください。

ソフトにより表示が  
異なります。

こちらのボタンでインストールできます。（保存先はスタートアップフォルダ）です。



インストールに成功すると、ツールバーに下記のボタンが表示されて、このインストール用のファイルは自動で閉じられます。（もし、自動で閉じない場合には、「変更を保存せずに、閉じてください。」）

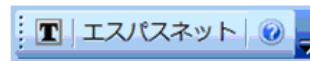



図 4 マクロテンプレートのインストール方法の説明

説明の指示に従って、 をクリックしてください。

インストールが成功すると、自動でマクロテンプレートが閉じられて、インストールが終了します。

インストール用に用いたマクロテンプレートは、アンインストールにも用いますので、大切に保存してください。

## 2. マクロが実行されない?? マクロが無効化されている場合

(Word 2003 の場合)

### 1. 「セキュリティ」設定画面を開く

ツール (T) > マクロ (M) > セキュリティ (S) とたどり、「セキュリティ」の画面を開きます (図 5)。

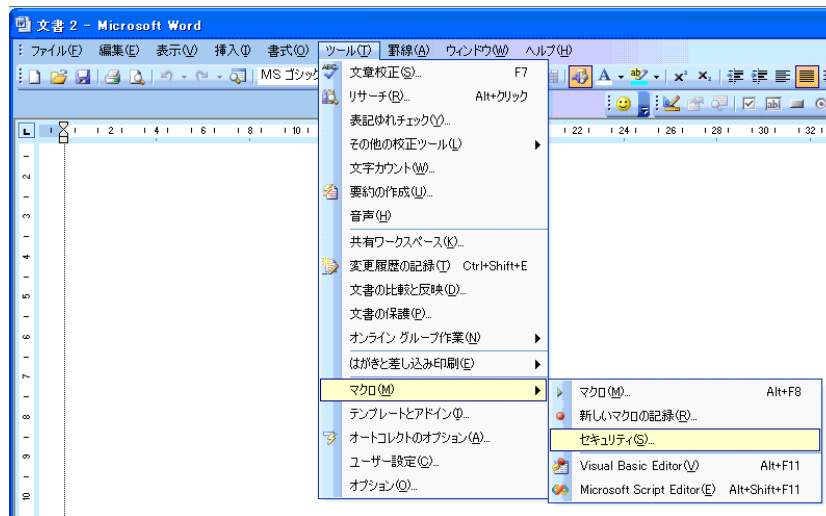


図 5 「セキュリティ」のメニュー

### 2. セキュリティのレベルの変更

セキュリティレベルが「高 (H)」か「最高 (V)」に設定されている場合、「中 (M)」に変更します (図 6)。

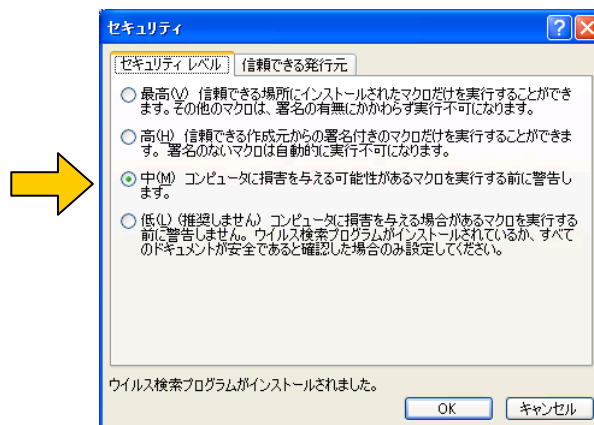


図 6 「セキュリティ」のダイアログ

### 3. ワードを再起動して、この文書を再度開く

マクロテンプレートの変更を保存せずに、ワードを終了します。その後再度マクロテンプレートを開きます。このときに「セキュリティ警告」が表示されますが、「マクロを有効にする (E)」を選びます (図 7)。

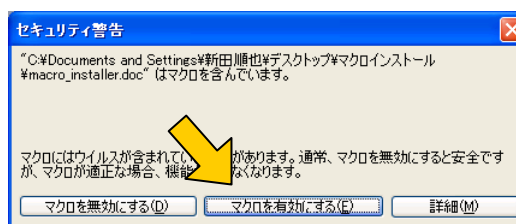


図 7 「セキュリティ警告」のダイアログ

上記の方法でも改善されない場合には、次の項目の方法にて確認してください。

(Word 2010 の場合)

### 1. 「マクロのセキュリティ」を開く

「5. リボンに「開発」タブを表示させる」を参考にして、リボンに「開発」タブを表示させてください。

図 8 のように、「開発」タブの「マクロのセキュリティ」ボタンをクリックします。

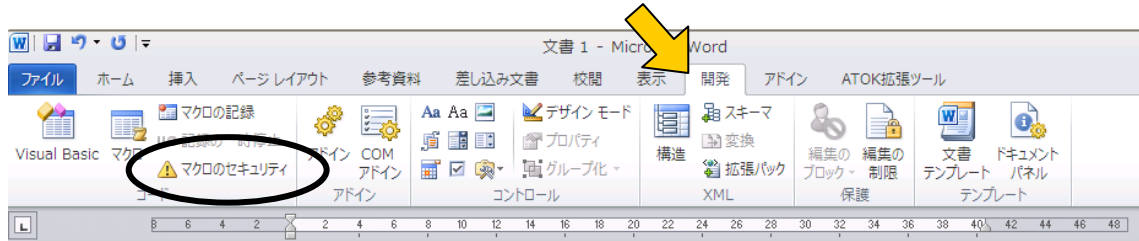


図 8 「開発」タブの「マクロのセキュリティ」ボタン

### 2. セキュリティのレベルの変更

現状の設定では、「警告を表示せずにすべてのマクロを無効にする (L)」が選択されている可能性があります。この場合には、マクロを含む文書を開こうとすると、警告せずにマクロが作動しないようにしてしまいます。

よって、これを図 9 のとおり「警告を表示してすべてのマクロを無効にする (D)」に変更します。

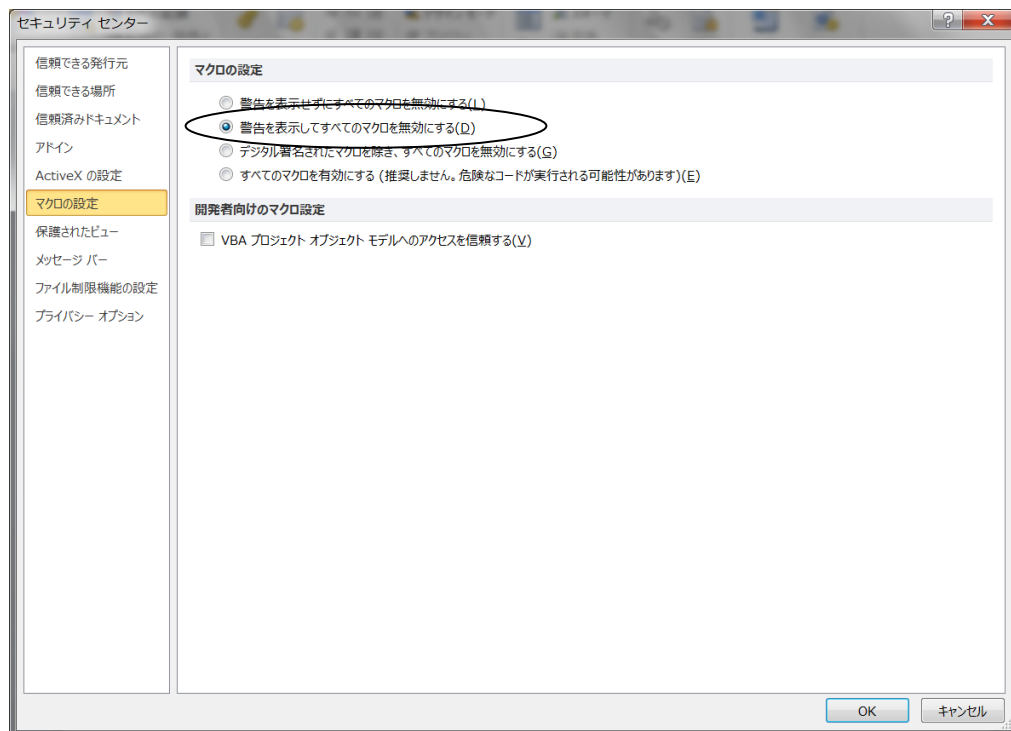


図 9 「警告を表示してすべてのマクロを無効にする (D)」を選択

### 3. ワードを再起動して、この文書を再度開く

操作は、Word 2003 の場合と同様です。

### 3. マクロが実行されない?? 「デザインモードがオン」の場合

(Word 2003 の場合)

デザインモードがオンになっている場合に文書中のボタンをクリックしても、マクロが実行されません。以下のように確認します。

#### 1. 「コントロールツールボックス」を表示

メニューの 表示>ツールバー>コントロールツールボックス から、「コントロールツールボックス」のツールバーを表示させます。

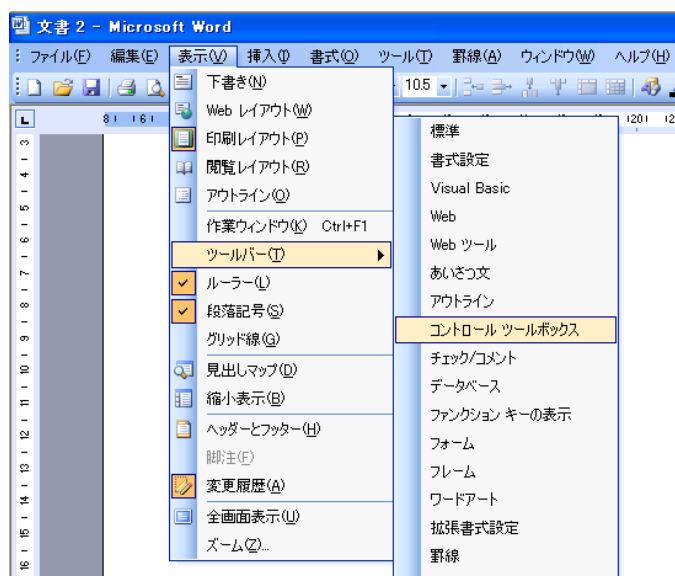



図 10 「コントロールツールボックス」の表示方法

#### 2. 「デザインモード」をオフ

デザインモードがオンになっている場合には、図 11 の矢印で示したボタンがクリックされた状態になります。また、ワードの設定によっては、画面中に同じボタンが表示されていることもあります。

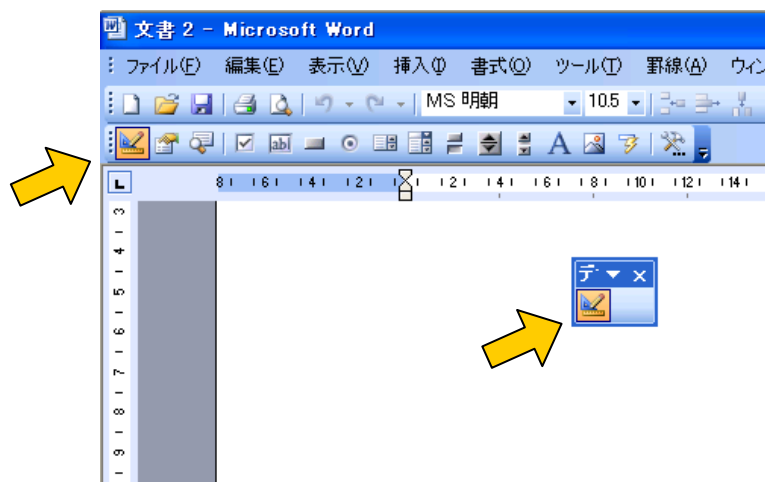


図 11 デザインモードがオンの場合の「コントロールツールボックス」の表示

このデザインモードの状態では、マクロが実行されませんので、上記のボタンをクリックして、デザインモードを解除します。



(Word 2010 の場合)

デザインモードがオンになっている場合に文書中のボタンをクリックしても、マクロが実行されません。以下のように確認します。

## 1. 「開発」タブの「デザインモード」を表示

「5. リボン「開発」タブを表示させる」にて説明した方法で、リボンに「開発」タブを表示させます。

「デザインモード」がオンの場合には、図 12 のように、「開発」タブの「デザインモード」ボタンがオンになっています。

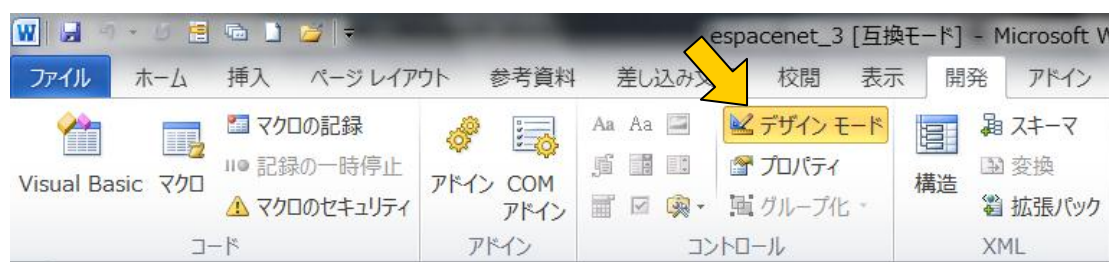


図 12 「開発」タブの「デザインモード」ボタンがオンの状態

## 2. 「デザインモード」をオフ

ボタンをクリックして、図 13 のとおり、オフにします。こうすれば、文書中のボタンにてマクロを実行することができます。

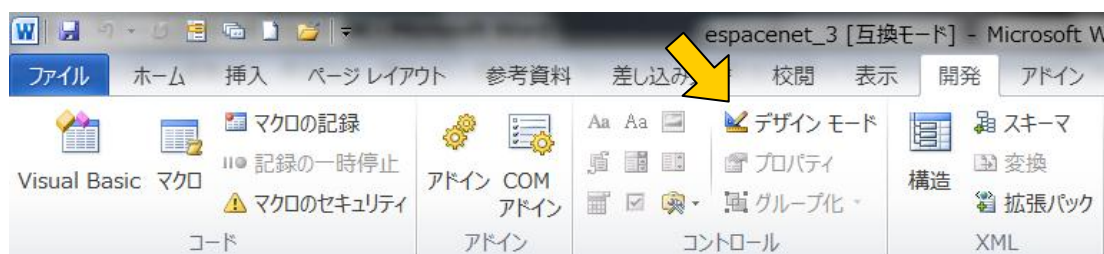


図 13 「開発」タブの「デザインモード」ボタンがオフの状態

## 4. マクロのオン・オフの切替方法

(Word 2003 の場合)

マクロテンプレートをオンにしてマクロを利用可能な状態にすることを、「アドインとして使用する」とも言います。インストールでの上書きやアンインストールに失敗した場合、マクロテンプレートをオフにする必要があります。

### 1. 「テンプレートとアドイン」ダイアログを開く

メニューの ツール (T) > テンプレートとアドイン (I) ... からダイアログを開きます (図 14)。

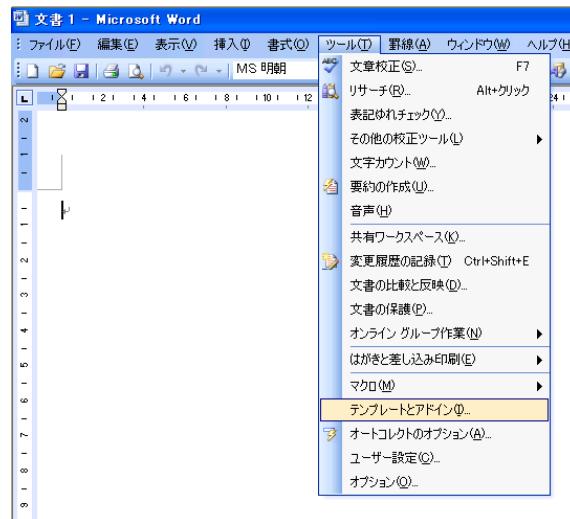


図 14 「テンプレートとアドイン」ダイアログの開き方

### 2. 使用するテンプレートのチェックボックスのオン・オフを切り替える

図 15 に示した画面の「アドインとして使用できるテンプレート (G)」の項目に、「ユーザーテンプレートフォルダ」と「スタートアップフォルダ」に保存したマクロテンプレートが表示されます。

チェックボックスをオンして「OK」ボタンをクリックすると、マクロが使用可能になります。

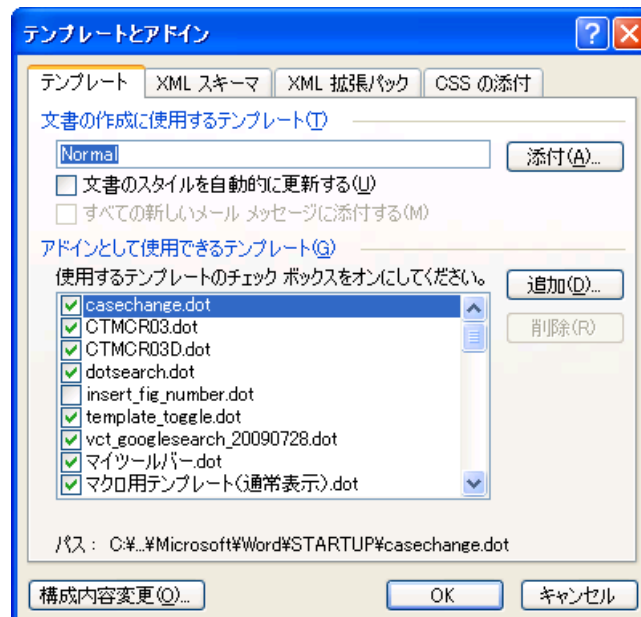


図 15 「テンプレートとアドイン」ダイアログ



もし、利用したいマクロテンプレートが表示されていない場合には、「追加」ボタンをクリックします。

すると、図 16 のように、「ユーザーテンプレートフォルダ」が開くので、マクロテンプレートを選択してください。

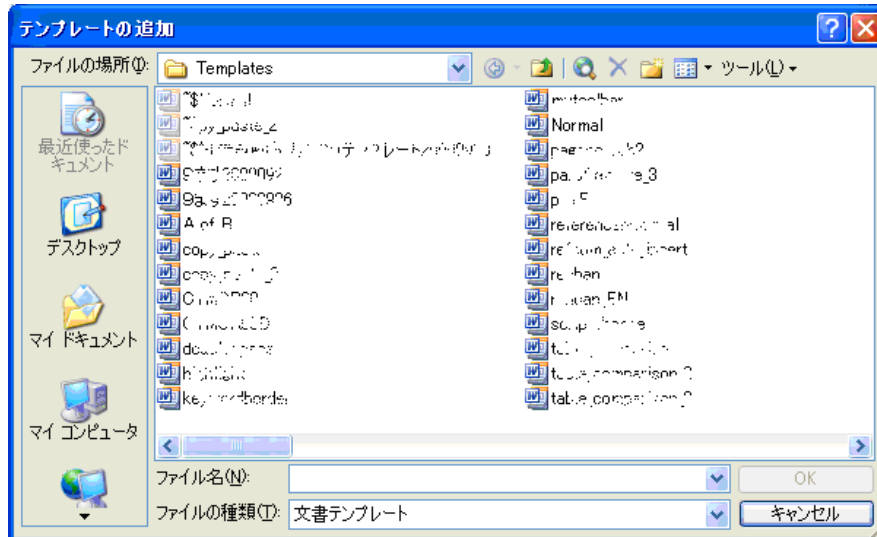


図 16 「テンプレートの追加」のダイアログ

詳細は、「[Wordで実践 やさしくて役に立つ『マクロ』事例集](#)」の P.285~P.290 をご覧ください。

(Word 2010 の場合)

マクロテンプレートをオンにしてマクロを利用可能な状態にすることを、「アドインとして使用する」とも言います。インストールでの上書きやアンインストールに失敗した場合、マクロテンプレートをオフにする必要があります。

## 1. 「テンプレートとアドイン」ダイアログを開く

「5. リボンに「開発」タブを表示させる」を参考にして、リボンに「開発」タブを表示させてください。

図 17 の「開発」タブにて、○で囲んだ「アドイン」ボタンをクリックすると、図 15 と同様の「テンプレートとアドイン」ダイアログが表示されます。

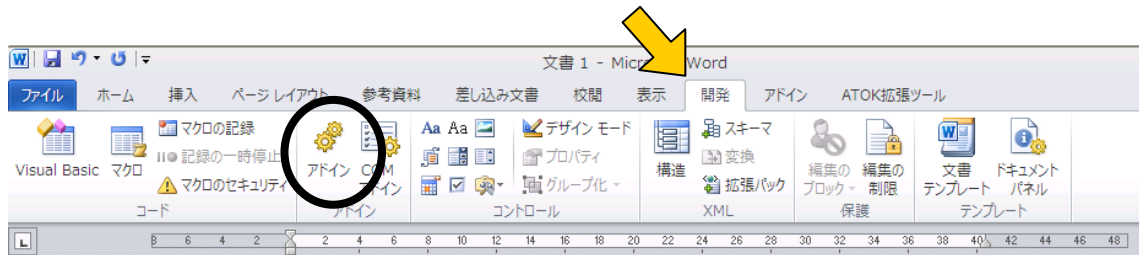


図 17 リボンの「開発」タブ

## 2. 使用するテンプレートのチェックボックスのオン・オフを切り替える

ここから先の操作は、Word 2003 の場合と同様です。

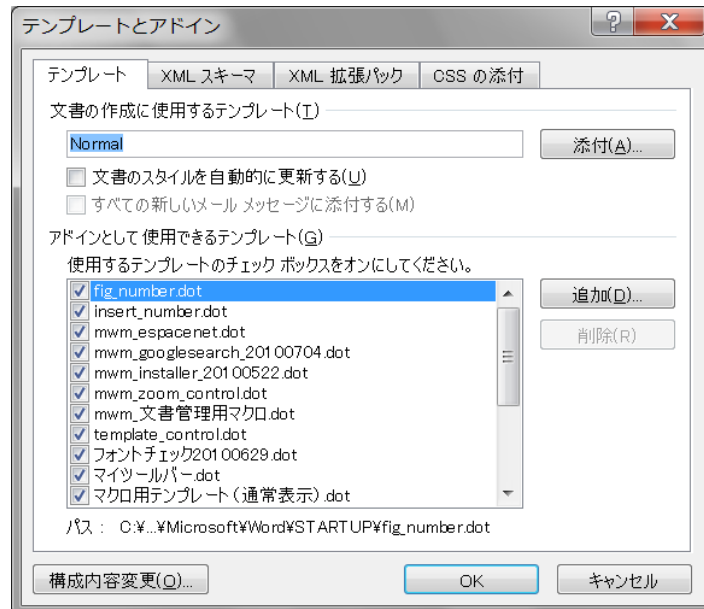


図 18 「テンプレートとアドイン」ダイアログ

## 5. リボンに「開発」タブを表示させる

Word 2010 をインストールした時点では、リボンに「開発」タブは表示されていません。本説明書にて紹介した方法を実行するには、「開発」タブを表示させた方が便利だと思います。

一度設定すれば、以後ワードを立ち上げるときには、常に「開発」タブが表示されるようになります。

### 1. 「Word のオプション」ダイアログを開く

[ファイル]タブ > [オプション] ボタンから、「Word のオプション」ダイアログを開きます。



図 19 ファイルタブの「オプション」ボタンの位置

「Word のオプション」ダイアログが開きました。

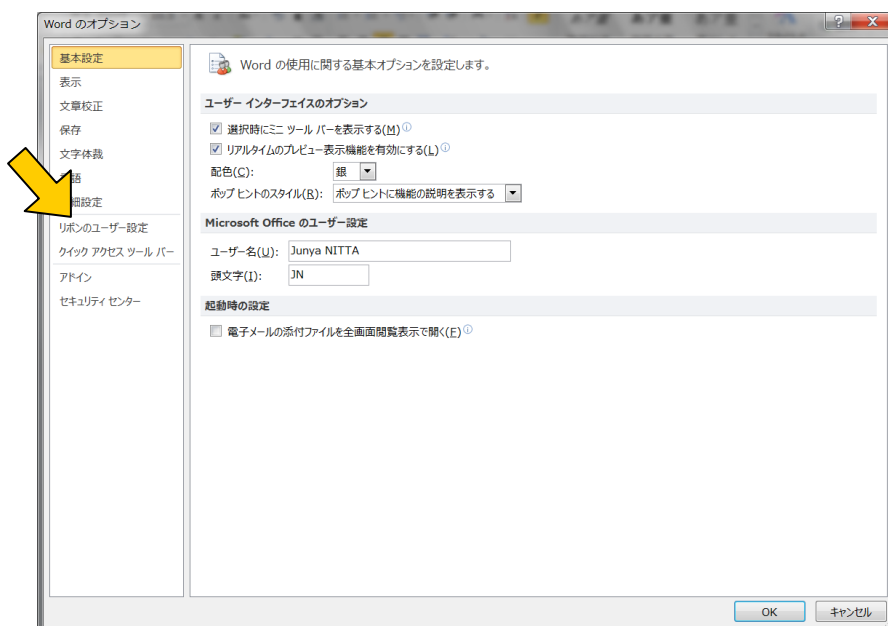


図 20 「オプション」ダイアログ

## 2. 「開発」タブを表示させる

図 20 で矢印で示された「リボンのユーザー設定」をクリックして表示された画面（図 21）にて、「開発」タブの表示をオンにします。

この設定を行うと、今後、図 22 に示すように、リボンに「開発」タブが表示されます。

この「開発」タブには様々な機能が集約されていますので、マクロを普段から使う場合には便利です。

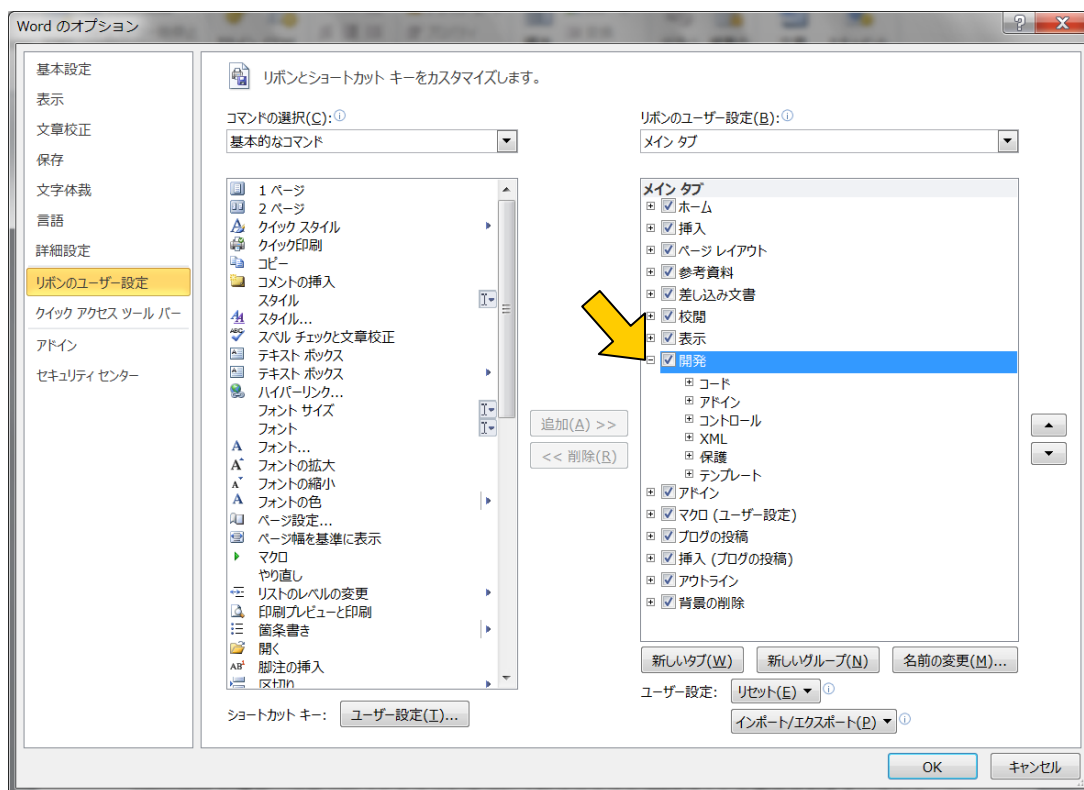


図 21 「開発」タブの表示設定

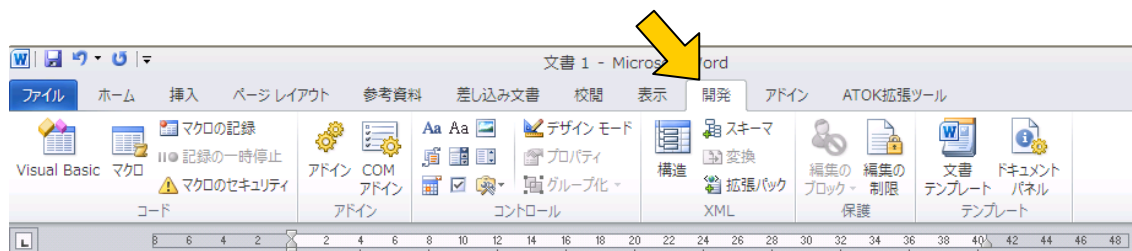


図 22 リボンに表示された「開発」タブ

## 6. その他の関連情報

### ▼作者の関連サイト

- ・ [みんなのワードマクロ ブログ](http://ameblo.jp/gidgeerock/)  
ワードマクロに関する情報（マクロテンプレート、プログラムのコードと解説、書籍紹介、ウェブサイト紹介など）を公開しています。
- ・ [85,000人の心に灯を](http://www.happyfreelancers.jp/)  
特許翻訳者の水野麻子氏による特許翻訳者支援サイトです。運営スタッフとして参加しています。  
特許翻訳に役立つパソコンの使い方、辞書の使い方など役立つ情報を公開しています。

### ▼メルマガ

【みんなのワードマクロ】メルマガ <http://www.mag2.com/m/0001007563.html>  
マクロテンプレートの更新情報や上記ブログの内容を月に1回発信します。  
マクロに関するバグの修正や更新があった場合には、このメルマガを通じてご連絡いたしますので、必要な方はご登録ください。

### ▼ワードマクロに関する書籍

- ・ [Wordで実践 やさしくて役に立つマクロ事例集](#) (西上原 裕明 著)
- ・ [実務翻訳者のための Word マクロ 基礎の基礎](#) (水野 麻子 著)
- ・ [自分で作る Word マクロ \(1\), \(2\)](#) (水野 麻子 著)

### ▼マクロ使用上の注意

プログラムの作成と動作確認は万全を尽くしておりますが、本ソフトにより引き起こされたいかなる事態へも責任は負いかねますので、ご了承ください。

### ▼マニュアル作成日時

2010年07月25日

### ▼動作確認をしたシステム

Windows Xp + Word 2003  
Windows Xp + Word 2010  
Windows 7 + Word 2003  
Windows 7 + Word 2010

### ▼作者連絡先

新田順也 ([wordvba55@gmail.com](mailto:wordvba55@gmail.com))

### ▼著作権について

本マニュアルの著作権は、作者である新田順也が所有しています。